

# 岐阜県の プラスチック

岐阜県プラスチック工業組合会報

第64号

岐陶工連と初の異業種組合交流行

170社が参加したファインセラミックスフェア

健康保険組合の設立は今秋を目標

廃プラ再生品が官公需の品目になる

全国業界ニュース

労務改善コーナー

デザインのすすめ

組合員の工場訪問

事務局だより

当工組と岐陶工連の異業種組合交流は、大松理事長の働きかけによる。



# 連携を深め将来にかける

## 岐陶工連と初の異業種組合交流

### ファインセラミックスをテーマに

岐阜県プラスチック工業組合は、美濃焼の製造団体である岐陶工連（岐阜県陶磁器工業協同組合連合会）と初の異業種組合交流を行った。これは岐阜県中小企業団体中央会の組合特定問題研究会事業として、3月7日、名古屋市の吹上ホールで開催されていた『ファインセラミックスフェア'85』の見学会をかねて実施した。交流テーマはファインセラミックス（ニューセラミックス）製品を異業種組合連携によって共同開発研究しようというもので、基調講演を聞いたあと懇談、また、展示会を見学しながら交流を深めた。

#### 大松理事長が 連携呼びかける

ファインセラミックスの製品開発研究をテーマに行った異業種組合交流は、両組合とも特別バスで名古屋へ向い、吹上ホールと隣接する名古屋市中小企業振興会館で行った。参加した当組合代表は大松理事長ら17人で、また、岐陶工連からはニューセラミック開発部

会の伊藤副会長ら23人。懇談開始に当たって大松理事長は『ファインセラミックスは第3の素材と呼ばれ、陶磁器業界もプラスチック業界も強い関心を寄せている。両業者はこの交流事業を契機に連携を深め、明るい将来を切り開いてほしい』と呼びかけた。

#### 杉本イビデン部長の講演聞く

続いて基調講演としてイビデン・開発本部長



ファインセラミックス製品の共同開発で話し合う両組合員

の杉本公男氏から『ファインセラミックスの現状と将来について』の話を聞いた。杉本さんはイビデンが独自の技術で開発に成功した炭化ケイ素セラミックス『イビセラム』や『ベータランダム』の開発責任者で、講演の中で『ファインセラミックス市場は、機械・自動車・医療機器に始まり、活用分野は無限に広まり、すでに3兆円市場とも5兆円市場ともいわれる』と将来性を詳しく説明した。

## まず複合製品の開発から

### 両業界が具体的に話合う

プラスチック業界と陶磁器業界の異業種組合交流は、基調講演のあと具体的な懇談をした。懇談は両業界のファインセラミックと取組む現況の紹介から始まり、業界が抱えている問題点について話し合った。

この結果、陶磁器関係者からは、

『国のフロンティア事業として、県の陶磁器試験場や金属試験場に試験研究施設が導入されアルミナ系素材の成形、焼成、加工テストを行っている。しかし、製品の開発研究はこれからである』

『陶磁器業界は、順次、自動化され、さらに完全自動化へと進んでいる。これは一部企業の寡占化が予測され、業界は将来の新産業としてファインセラミックスへの進出が迫られる』

『両業界はファインセラミックスとの取組みに先き立って①窯業原料とプラスチック原料の段階で新用途を開発する②窯業機械に高機能樹脂の特性を活用する③磁器と樹脂の複合製品を開発する——ことを考えてはどうか』

### 集積した技術を提供し合う

また、プラスチック業界からは、

『ファインセラミックス原料専用の射出成形機が市販されはじめたが、まだ形ができる程度で焼成し、商品ができるまでにはいたっていない』

『高機能樹脂のバインダーとしてファインセラミックスを使い、樹脂の特性を向上させることも新しい課題である』——などの意見が出た。

このあと杉本講師が『両業とも集積した技術を提供し合い、交流を深めてほしい。とくに試行錯誤を繰り返すことになるが、ねばり強く取組まれることを望む』と初懇談をまとめた。



にぎわったファインセラミックスフェア

## 170社が参加したフェア

鉄、プラスチックに続く第3の素材と注目されているファインセラミックスの先端技術と、各種製品を一堂に集めた『ファインセラミックスフェア'85』は、3月6日から5日間、名古屋市の吹上ホールで開かれた。

今年で3回目に当たるフェアは、前回より40社も増えて170社が参加、このうち外国企業の代理店、商社が19社も含まれていた。

会場は、テーマゾーンと企業出展ゾーンに分かれ、テーマゾーンにはメインテーマの『情報化社会とファインセラミックス』に沿って、入門から基礎研究、応用例までわかりやすく紹介されていた。

企業出展ゾーンには、各社が誇る各種製品や技術が一堂に集められ、プラスチック関係ではファインセラミックス専門の射出成形機が出展されるなど話題を呼んだ。

# 健保組合の設立は今秋を目標 加入者を再募集しより完全に

当工業組合は5月を目標に『岐阜県プラスチック事業健康保険組合』（仮称）の設立準備を進めてきたが、去る2月末現在で加入同意者数が設立条件を満たさなかったため、約半年、設立延期することにした。この機会に同意書、委任状などの提出期限を3月末まで締切りを伸ばすとともに、適用事業所が全県下に多数あることから再募集し、より完全な健康保険組合とし、今秋目標に設立発足をめざす。

## 設立準備委員会が初会合開く

健康保険組合の設立は当初計画より半年遅れることになったが、設立準備作業は順調に進んでいる。2月22日に開いた工業組合役員会では設立準備委員を決め、一方、事務局では設立認可申請のための設立加入同意書（事業主と被保険者となる従業員）や委任状の回収を急いでいる。

健康保険組合の設立準備委員は、右の6人で3月5日、工業組合事務局で初会合を開いた。

## 工組のアウト サイダー勧誘

設立準備委員会の初会合では①この機会に、より完全なものとし、実現する②工組アウトサイダー62社にも呼びかける——などを決めた。これによって今秋までに従業員5人以上の事業所120社から4,300人以上の同意を取

### 健康保険組合設立準備委員

委員長	大松幸栄岐阜プラスチック工業社長
副委員長	児玉庄一コダマ樹脂工業会長
委員	武藤昭三ムトー精工社長
委員	日比正隆大垣プラスチック工業社長
委員	関谷哲夫岐阜プラスチック工業総務部長
委員	篠田裕之工業組合事務局長

り付ける目標をたてた。

なお、厚生省の発表によると、組合管掌保険の設立認可基準を35年ぶりに全面改正し、4月から実施する。それによるとプラスチック業界がめざす総合組合の設立は、これまで必要保険者数を慣例的に3,000人以上としていたが、これを『被保険者数3,000人以上』と認可基準に明記し、設立緩和の方向を打ち出しており、プラスチック事業健康保険組合の設立に拍車がかかっている。



岐阜県から健康保険担当者を招いて詳しい説明を聞く

## 役員会と新年会を開く

健保の詳しい説明も聞く

当工業組合は、1月26日午後、岐阜市内のホテルパークみなと館で役員会及び新年会を開いた。とくに新年会に先だて、健康保険組合設立についての説明会を開いた。

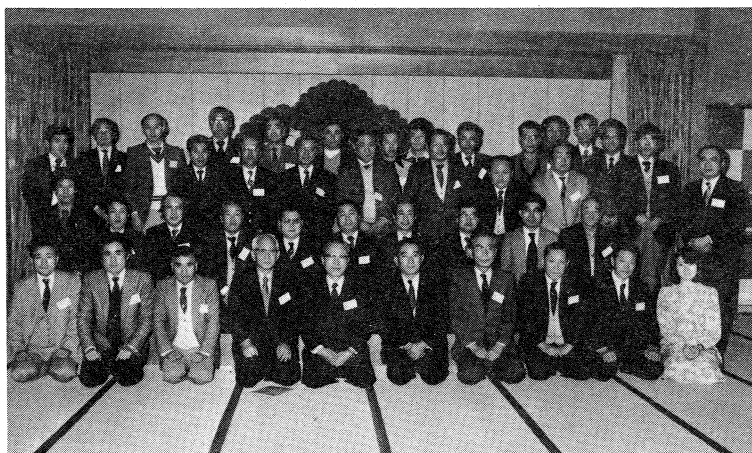
説明会は岐阜県民生部保険課の山城良三監理係長を招いて、健康保険組合のメリット、運営上の注意点などについて詳しい説明を聞いた。

## 技術開発対象企業を募集

### 技術開発奨励事業 フロンティア事業

岐阜県商工労働部は、60年度事業として実施する『中小企業技術向上奨励費補助事業』と『ニューセラミック技術開発フロンティア事業 応用技術研究開発費補助事業』の対象企業を4月3日から24日まで受け付ける。

〈技術向上奨励事業〉 中小企業の技術改善を促進するため新製品・新技術の開発に対して助成するもので、国と県が3分の1ずつ負担、企業が残る3分の1を負担する。



新年会に参加した役員と組合員一同

## 運動健康法アドバイス

●胃腸の弱い人：全身的なスポーツは肺や心臓の働きを促し、同時に血行をよくしたり全身の器管の働きを活発にします。またウェイト・トレーニングのような筋力を使う運動は、内臓の働きをよくします。



今年度分の募集企業は6企業で、工業技術センターほか県立の各試験場で受け付ける。この事業は昭和55年度から始り、これまで33企業が指定を受けている。

〈フロンティア事業〉 フロンティア事業の応用技術研究開発事業は①アルミナ系ニューセラミック製品の開発研究②抄紙技術を利用したニューセラミック製品の開発研究③セラミックス用研削盤の開発研究④セラミックスの機械加工技術開発 — を対象とした新技術・新製品の

研究開発、試作を行う経費を国、県が3分の1ずつ助成する。

募集は工業技術センター、陶磁器、紙業、金属の各試験場で受け付ける。58年度から始った補助事業で、これまでに5社が指定を受け、研究が進んでいる。

J I S 制定され  
官公需の品目に

# 廃プラ再生全国で百社

廃プラ再生加工業者は岐阜県内にも数社あるが、最近では全国で約100社に達している。その再生加工技術も進歩し、製品も複雑な形状のものや無機物を充てんしたものなどバラエティーに富んだものがつくられ、利用実績が上昇している。

## 流通業から多く出る再生原料

プラスチック再生加工の原料は、流通業から出るフィルム類、袋物、成形業から出るフィルム、シート、型物などが主体。これらの原料を分類、破碎し、つくり出す製品に必要な材質に合わせて樹脂を混ぜ、熔融機にかけて溶かし、成形するのが再生加工の原理である。

## 再生加工技術は日本が世界一

こうした再生加工の技術は世界中でわが国が最も進んでいて、海外から大きな関心が寄せられている。その製品はコンテナなど包装運搬資材、標識杭をはじめ各種の杭、棒、板材、法面保護杭など土木建築資材、あぜシートなど農業

資材、植木鉢やベンチ、遊具、靴底など多方面にわたっている。

## 製品の品質保証で J I S 制定

また、製品の品質を保証するために棒、板、杭、標識杭については J I S が制定され、最近では官公需特定品目にも指定され、官公需をはじめとする各分野への普及が期待されている。

## 廃プラ全県下で 3 万 9 千トン

岐阜県衛生環境部は、第三次産業廃棄物処理計画を策定する資料として58年度に産業廃棄物実態調査を実施した。

それによると、昭和57年における岐阜県の産業廃棄物の総発生量は、年間約489万トンと推計される。最も多い業種は製造業で332万トン（67.7%）次いで鉱業78万トン（16.0%）建設業48万トン（9.8%）と続く。地域別では、大垣地域が最も多く169万トン（38.4%）次いで岐阜地域138万トン（31.3%）最も少ない地域は飛騨地域の17万トン（3.9%）である。

総発生量のうち廃プラスチックは、全県下で3万8,975トンで量的には予想外に少なかった。

なお、県第四次総の基本フレームを基盤にして産業廃棄物を将来推計したところ、昭和70年における発生量は762万トンとなり、57年の発生量489万トンに比べ約1.6倍となることが予測される。



利用範囲も拡大された再生加工品の数々



アラミド繊維入り強化プラスチック射出成形機で製品化試験

奈良県工業試験場は国の研究機関や地元企業との共同で、新素材のアラミド繊維とプラスチック樹脂を混合した強化プラスチック材料を射出成形で製品化する研究と取り組む。アラミド繊維は1ミクロン当たり1,000本単位の非常に細かい糸が収束した状態になっており、これを分散させてプラスチック樹脂を付着させるのは技術的にむずかしく、世界的にも射出成形による実用化の例はない。もし、射出成形に成功すれば、量産化への道は開けるばかりか、アラミド繊維の持つ強度や耐熱性から工業製品への応用は広く、注目される。

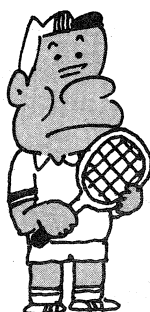
3カ年計画で6億円を投資

この研究は、奈良県の代表的な地場産業であるプラスチック業界に先端技術を導入、加工技術の高度化を図ると同時に、関連業界の協力を得て地元産業全般の技術レベルのアップをめざす。研究期間は60年度から62年度までの3カ年で、国の『地域技術活性化事業』の補助金を受け、総事業6億円のプロジェクト事業である。

計画では、初年度はアラミド繊維とプラスチック樹脂の混合からペレット状にするまで、製造装置の開発を含めた材料製造工程の研究を行う。2年度はこの強化プラスチック用射出成形機と同金型製作技術の開発で、最終年度はこれによってできた成形品について電機製品や工業部品としての応用技術研究を行う。

なお、研究開始に当たって奈良県工業試験場工業技術院大阪工業試験所、製品科学研究所、ほか大学、大手繊維メーカー、さらに地元企業からプラスチック、素材、金型、製品関係の5社が参加する。

運動健康法アドバイス



●糖尿病の人：前後の検査など医師の管理を十分に受けられる態勢で、医師の指示にしたがって、ジョギング、徒手体操、テニスなどスタミナづくりの運動をします。

徳山ポリプロ

徳山OPフィルム

ポリプロピレン二軸延伸フィルム



徳山曹達株式会社

名古屋営業所

名古屋市中村区名駅四丁目27番23号（新名古屋ビル東館5階）  
電話（052）581-1581代

## 加齢的身体機能と災害 中高年の個人差は大きい

労務改善コーナーの今回は『災害の年齢段階別発生率』について特集してみたが、今回は、『加齢的身体機能と災害』について紹介することにした。資料は、日本労働協会の『労働と経営』から取材した。

### 心理・生理的年齢で評価せよ

一般的に人は年齢を増すにつれ、生理、心理的能力面の個人差は大きくなるといわれ、年齢だけではその人の保有する能力を正当に見れなくなるという。確かに子供のうちは、身体が大きいとはいっても、大人ほどの完成度は小さい。しかし、50歳 60歳台であっても、若々しく、耐久力のある人がある。その意味では少年層の個人差以上に中高年者の個人差が大きく、その人の作業能力、あるいはそれらを基礎的に支える心理・生理的年齢で評価することが必要である。

この能力の評価は、実に重要なことで、作業量の適正化や作業負担による退行度合の目安となり、また、機能衰退の速度をおしとどめる程

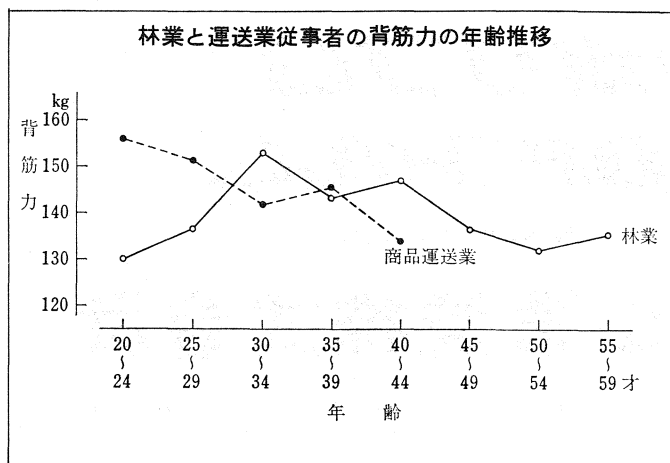
度を推測可能にするからである。つまり、労働による機能の片寄をただすことができるからである。しかし、加齢的な機能変化と実際の作業能力がどのような関係になっているのかは非常に難しい。ところが、現実には、身体機能を大きく必要とする作業では、加齢的身体の衰弱は作業継続を困難にするし、機能的容量の減少は耐久性や対応性を低下させる。したがって「災害回避動作」も遅くなり「なんでもないとこで転倒する」ことになる。

### 作業内容で災害発生率異なる

図は、林業と運送業に従事している作業者の背筋力の年齢層別平均値を示した。林業と運送業を比べると、林業は災害発生率の高い業種であり、運送業は腰痛などの関心がもたれる作業である。運送業では貨物の取扱い上から強い筋力が必要とされ、年齢的には早期にピークをつくり、加齢的にも低下している。この低下度合は、林業の20歳から30歳台にかけて養成される経過とは対比的であり、林業の40歳台、50歳台

の低下度合はゆるやかである。

この筋力の年齢別推移からみた問題に二つのことがある。一つは筋力レベル的には高い作業集団でありながら事故の多いことで、腰部障害が少なからず見られることである。林業災害は自然環境のなかで傾斜地や樹木の上で作業することからくる。運送業は、作業者の保有する筋的能力以上に、作業するからだ。





## デザインのすすめ

岐阜県プラスチックデザイン協会

### 変化した「新しい生活者」への対応

経済の高度成長がもたらした、高度大衆消費社会が70年代に成熟期を迎え、そこに到来した二度にわたるオイルショックを契機に、消費者のなかに新たな生活意識、価値感をうえつけ消費者から生活者への新たな自覚を芽生えさせたことは、すでに周知のことである。

では、このように変化した生活者をどのようにとらえ80年代後半の製品開発に結びつけばよいのだろうか。

JNNデータバンクの1978年、'81年、'84年の総合嗜好調査の単純集計を時系列で見ると、個性型志向、他人志向型よりマイペース型志向、変化・変身願望 生活革新意識、ブランド離れ、広告からの自立傾向、そして研究型消費行動が漸増している傾向にあるという。

変化・変身願望は一般的に男性が高く、別の生き方、変化に富んだ生き方、笑われてもしたい事はするといった傾向にあり、消費積極型志向は女性が高く、新製品を試しに買ってみる、良いものは必要なくても買っておく、いろいろなものを買って豊かな生活をしたいといった傾

向を意味し、「新しい生活者」は、生活創造意欲の強い生活革新限ともいえる。

このことは、企業にとって、一見消費積極型のいい顧客のように思えるが、一方ではおしつけをきらい、まったく新しい個々の価値感を持つ自分主義のむずかしい顧客でしかない。

つまり、モノの売れる可能性は高くなる傾向になったものの、何が売れ筋で、何が売れるかといった予測が増々たてられなくなり、しかも量といった問題に関しては全く期待できない時代となりつつある。

だからといって、手あたりしだいにモノを造るわけにもいかないが、有効な手段として企業の戦略が重要となり、「新しい生活者」と企業の知恵比べがそこに展開される。

どの時代にも市場のおもな担い手はいるもので、80年代後半の担い手も30代の女性とされているが、彼女たちは70年代に起った生活革命の担い手でもあり、当時ニューファミリーを形成した人達でもある。

彼女たちは世帯を形成し、子育て中で、家事育児から手が抜けないうま最も消費活動のホットなライフステージにある。

(岐阜県工業技術センター 技術振興部)

# 出光

## の石油化学製品

◎取扱品目	高密度ポリエチレン
ポリスチレン	ポリプロピレン
低密度ポリエチレン	カルブ®
	ポリカーボネート



### 出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111  
名古屋支店 名古屋市中区錦1-17-13(名興ビル) 〒460 ☎ 052-231-8611

## 扶桑に本社機能を移し整備強化

### 後藤製作所



後藤春明社長

組合員の工場訪問は県外にある後藤製作所（後藤春明社長、従業員40人、資本金500万円）を訪ねた。県外といっても木曾川をへだてた各務原市の対岸、

犬山市木津に本社工場そして丹羽郡扶桑町小淵に扶桑工場がある。写真の工場は扶桑工場で、本社機能と工場の主力はこの工場にある。

後藤さんとプラスチックの出合いは古く、昭和24年。それまで木津の北ノ畑で、父親と鉄工所を経営していたが、知人から使わなくなったコンプレッション10台を譲り受けて、電気の配線器具をつくり始めたのがきっかけ。戦後もまもなくの頃から『鍛冶屋よりプラスチックの時代だ……』と将来性を見込んで、操業したわけだ。後藤さんは『一番多いときはコンプレッションが20台近くも並んだが、当時は素人でやみくもに取り組んだ』とふりかえる。

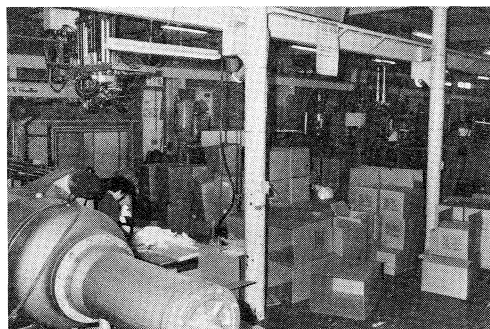
### 成形の他にオリジナル商品作る

コンプレッションの時代は予想外に短く、インジェクション時代に入ったが、後藤さんはいち早く昭和28年に導入した。第1号は3オンスで、自動車用レンズを成形加工した。下請の下請であったが仕事は多く、同じ北ノ畑地内に新工場をつくりインジェクションを7台並べ、日用雑貨品や工業部品を成形した。

経営は下請ながら堅実に進み、10年前には対岸の岐阜プラスチック工業と取引を開始、岐阜会の一員となった。生産品目も日用雑貨品60%、工業部品20%、電気部品20%と内容が変り、経営は安定してきた。電気部品というのはバスの弱電部品で、鍛冶屋の技術を生かした後藤さんのオリジナル（実用新案）商品である。

### 後藤さんの座右の銘『初心不忘』

扶桑工場は、同じ木曾川堤防沿い約2キロの下流。昭和56年8月、家具工場跡を買い取り、成形工場へと模様替えしたもの。工場は4棟からなり、約4,600平方メートルもある。工場には75トンから370トンのインジェクションが9台並び、近く新鋭機がもう一台納まる予定。



この広々とした工場へ主力を移してから同じ40人の従業員（女子は半数）で生産性は2倍に増えた。移転を機会に合理化ができ、従業員も広い工場の中で伸び伸び仕事をしてくれるようになったからだという。

後藤さんの座右の銘は『初心不忘』。大きな工場を持ったからといって社長室はつくらず、工場の真ん中に事務所をおき、旧工場時代と同じように従業員と接することを忘れていない。

## 事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

### □健康保険組合の設立へ理解と協力を□

工業組合員の企業を中心に『岐阜県プラスチック事業健康保険組合』（仮称）の設立準備が進んでおります。さる3月5日には設立準備委員会も発足し、工組役員と共に対象企業を訪問したり、加入勧誘に全力をあげているところです。この健康保険組合は、工業組合の組合員企業のご賛同を得るばかりではなく、全県下にあるプラスチック業界の皆さんからご賛同を得て設立する大がかりなものです。

さる3月15日の日本経済新聞記事に、厚生省が組合健保の設立基準を緩和する方針が発表されていましたが、これに勢いを得て設立へ向けてもうひとがんばりし、ぜひ実現する覚悟です。ご協力とご理解をお願いします。

### □健保組合の設立同意書のご提出を□

健康保険組合設立認可を申請するため、設立加入同意書と申請手続を行う事務の委任状を、いづれも正副2通提出して下さい。同意書は事業主は社印（ゴム印）と捺印、従業員は被保険者全員の署名捺印です。委任状は事業主の社印

（ゴム印）と捺印、収入印紙と割印です。系列企業、子会社、県外工場など別組織になっている場合は、組織ごとにまとめて下さい。

なお、設立が近づきましたら保険事務諸手続、保険料口座自動引落手続、健保組合の規約、議員選任などをお知らせします。

### □共同購入の希望商品を聞かせて…□

工業組合では、組合員企業の経営に必要な商品、機器の一括購入やあっ旋を行っております。新商品、新機器情報を聞かせてください。

### □新事務員の片桐匡野さんをよろしく□

新しく片桐匡野（まさの）さんが採用され、勤務されています。組合へ来られたり、電話された方はお気付きかも知れませんが若くて、美しい女性です。よろしくお祈りします。

## 岐阜県のプラスチック 1985 64号

昭和60年3月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番1番  
（岐阜産業会館4階）

電話 （0582）72-7173

## 岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大 松 幸 栄

ポリエチレン

**スミカセン**®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

**エバテート**®

ポリプロピレン

**住友ノーブレン**®

ポリスチレン樹脂

**エスブライト**

塩化ビニル樹脂

**スミリット**®

メタクリルシート

**スミペックス**®

メタクリル樹脂

**スミペックス-B**®

高密度ポリエチレン

**スミカセンハード**

熱可塑性エラストマー

**住友TPE**

合成ゴムSBR

**住友SBR**

合成ゴムEPR

**エスプレン**®

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

**スミグラフト**®



# 住友化学工業株式会社

名古屋支店

〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号（興銀ビル）

電話 <052> 201-7571



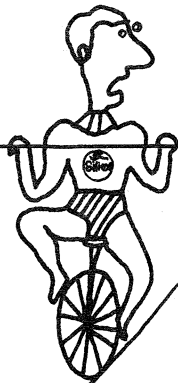
ニーズに**適確に**  
こたえることで  
未来の扉をひらきます

産業や生活のあらゆる分野で、便利さや快適さを生みだしているプラスチック。このすぐれた特性をコントロールして、繁栄のためによりよく活用しなければなりません。信越ポリマーはプラスチックを主な素材として、各種の製品を多角的に開発、生産、販売しています。一方、これらの製造や流通のプロセスにあたっては、安全や環境の保全にも十分配慮し、時代と社会のニーズにこたえる新しい価値づくりを進めています。

新しい素材を価値あるものに

 **信越ポリマー**

名古屋支店 名古屋市中村区名駅4丁目27番23号 (新名古屋ビル)



信越シリコーンなら  
では、の、離れ技。

### 信越シリコーン 離型剤

プラスチックの離型に最適な離型剤をご紹介します。

信越シリコーン離型剤。熱に強く、化学的に不活性ですから、型や成形材料を汚したり、傷めたりする心配がありません。不良品の発生を防ぐばかりか、清掃などの労力が軽減できますので、作業能率も一段と向上します。

〈特長〉

- 少量の塗布ですぐれた離型性。
- 耐熱性、撥水性にすぐれています。
- 化学的に不活性ですので、型を傷しません。
- 複雑な型にも使えます。
- 品種が豊富です。



**信越シリコーン**

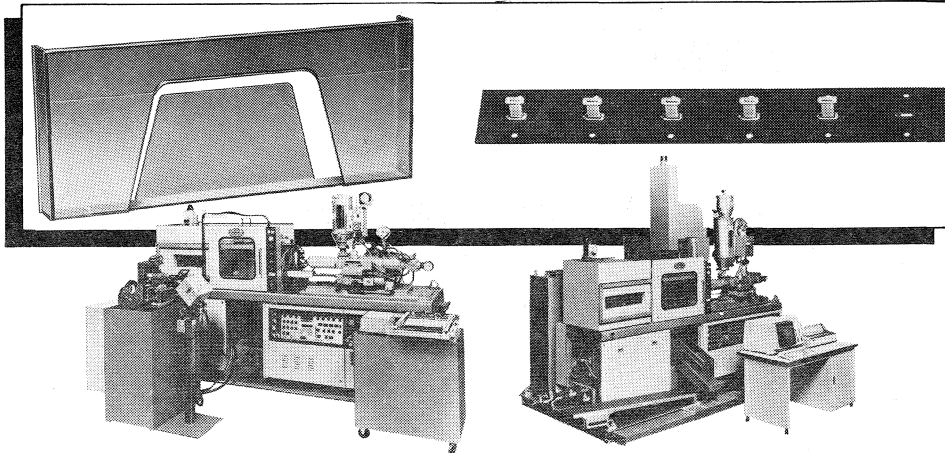
信越化学 / 名古屋支店

名古屋市中村区名駅4-27-23(新名古屋ビル東館)

TEL(052) 581-6511(代)

射出成形を知り尽くした多角的な高度技術  
だから出逢えます。求めていた成形技術が…

# 技術の予言射



## 実用的なシステム成形の先取り

手軽なミニFMS、また成形機のMC化など  
用途に応じたシステム成形で話題を集めています。  
金型交換から成形、そして後加工、さらには搬送システムの簡便化など  
経済的、合理的な生産ラインを実現します。

## NISSEI 精密射出成形機・世界のトップメーカー 日精樹脂工業株式会社

本社・工場・長野県坂城町 電話(0268) 82-3000(大代表)  
営業所・東京(03) 357-7541(代表) 大阪(06) 693-7881(代表)  
・名古屋(052)732-0261(代表) 長野(0268)82-3000(代表)  
出張所・全国34ヶ所・海外サービスステーション24ヶ所(21ヶ国)  
岐阜出張所・〒500 岐阜県岐阜市西部寺屋敷3-40番ビル ☎(0582)72-5952



## 東芝機械株式会社

本社 東京都中央区銀座4丁目2-11  
名古屋営業所 名古屋市中村区名駅4丁目7番23号  
化工機課 TEL <052> 561-8341

## 三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂

**NOVAMID**  
ノバミッド

ポリカーボネート樹脂

**NOVAREX**<sup>®</sup>  
ノバレックス

PBT樹脂

**NOVADUR**  
ノバドゥール

中低圧ポリエチレン

ポリエチレン

**NOVATEC**

高圧ポリエチレン

**NOVATEC-L**



## 三菱化成工業株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル  
電話 03(283)6111(大代表) (〒100)

染料 }  
工業薬品 } 販売  
合成樹脂 }

# 山田化成株式会社

取締役社長 山田正水

本社 〒101 東京都千代田区内神田2丁目8番4号  
TEL (03) 256-7861(代)  
名古屋出張所 〒460 名古屋市中区丸の内3丁目13番18号(サワニビル)  
TEL (052) 961-6591(代)

UL・94-V0 認定材料

自己消火性樹脂

**JSR NF94**  
**JSR NC100**

日本合成ゴム株式会社 本社/東京都中央区築地2-11-24 TEL(03)541-4111・名古屋支店/TEL(052)571-1231



# 発見と発明

ゆたかな生活環境をクリエイト

MMA部門を中心として、時代のニーズに合った  
発見と発明を…



“発見”されたモノを日常生活に使用できるように研究開発することが“発明”です。人類にとって新しく“発見”されたエネルギー“天然ガス”を原料に「高品質素材の総合開発」をテーマに、“発明”を続ける協和ガス化学工業。メタクリル一貫生産メーカーとして、常に“より良いもの”を求め続けています。

メタクリル樹脂・注型板

**パラグラス®**

メタクリル樹脂・押出板

**コモグラス**

メタクリル樹脂・成形材料

**パラペット®**



**協和ガス化学工業株式会社**

本社 千103 東京都中央区日本橋3-8-2新日本橋ビル ☎(03)277-3174  
大阪事務所 ☎(06)345-3901 名古屋営業所 ☎(052)951-6396  
福岡営業所 ☎(092)711-1530 仙台営業所 ☎(0222)66-1525



**生きてる素材。**  
三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

**アクリライト®**

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

**アクリペット®**

ABS樹脂

**ダイヤペット® ABS**

**三菱レイヨン**

東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711



リスのプラスチック



# 今、新しい テーブルウェアの たび だち 出発。

ノーブル(英語)とは“高貴”という意味、その名にふさわしいテーブルウェアとして、リスの一貫したデザインポリシーから生まれたメタクリル樹脂の最高級品です。

**Noble**  
ノーブル

## 岐阜プラスチック工業株式会社

本 社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F) TEL<0582>65-2233(代)  
稲羽工場 岐阜県各務原市前渡東町3620 TEL<0583>86-9311(代)  
支 店 東京・大阪・名古屋・福岡 営業所 高松・広島・仙台・札幌・宇都宮